

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 令和5年 12月13日(水) 4校時
 場 所 計根別学園6年教室
 生 徒 計根別学園第6学年(男子4名、女子7名)
 特別支援学級(男子2名、女子1名)
 指 導 者 登藤 英臣
 池田 牧

1. 単元名

「北方領土学習～北方領土の未来～」

2. 計根別学園の教育目標と「総合的な学習の時間」の目標

○計根別学園教育目標「夢を紡ぐ力」

「夢を紡ぐ力」(9年間で身に付ける力)

8・9年生 High Stage (高等部)

○自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に運ぶ。
 ○社会の一員としての義務と責任を理解する。
 ○将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服する努力に向かう。

5～7年生 Middle Stage (中等部)

○自己と他者の違いに気付き、尊重しようとする。
 ○集団の一員としての役割を果たそうとする。
 ○将来の夢を達成する上で現実の問題に直面し、模索する。

<3・4年>

○友達と協力して活動する中でかわりを深める。
 ○自分の持ち味を発揮し、役割を自覚する。

1～4年生 Junior Stage (初等部)

<1・2年>

○小学校生活に适应する。
 ○身の周りの事象への関心を高める。
 ○自分の好きなことを見つけて、のびのびと活動する。

「総合的な視点」と「団体貢献」を。「集団で役立ってこそ『誇り』」

「今の自分」と「将来」を繋ぐ。常に「忘」をイメージする。「忘」は心の美印」

「夢」や「あこがれ」をとことん追求。とにかく「やる気」

つなげる たかめる 乗り越える つくる

○「総合的な学習の時間」の目標

地域・食育

ふるさと計根別を知り、故郷を大切にする意識を養っていく。

○「夢を紡ぐ力」と「総合的な学習の時間の目標」との関連

「何を知っているか、何ができるか」、「『知っていること・できること』をどう使うか」
 「どのように仲間(地域・社会・世界)と関わり、より良い人生を送るか」までに思いを馳せる子

3. 単元の目標と身に付けたい資質・能力

本単元は、近いようで遠い北方領土の問題を学び、同じ北海道に住む人として地域について考える単元である。同じ根室管内であっても、基幹産業が酪農である中標津町の計根別地区は、北方領土に関する認識が薄い現状がある。

ふるさと教育のアンケート結果から「自分たちが住むふるさとへの関心」は高いことがわかった。そのため、現状、関心が低い北方領土についても歴史や課題を学ぶことで、知識や考えを深めたい。知識を深めるだけでなく、その知識をもとに自分たちにできることは何か考え、北方領土問題を自分事として捉えることで、地域という枠組みを広くし、関心をさらに高めていくことを目指していく。

| 単元目標 | | |
|---|--|--|
| 北方領土問題を自分事として捉え、自分たちに何ができるか考えることができる。 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 学びに向かう力 人間性等 |
| <ul style="list-style-type: none"> 北方領土の問題や歴史を理解することができる。 目的に応じて必要な情報を収集することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 何を学び、何をするのか見通しをもって活動することができる。 集めた情報を整理・分析し、自分たちに何ができるのかアイディアを出すことができる。 学んだことから、自分の考えを提言として表現できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 北方少年少女塾や調べていく学習を通じて、協働しながら課題解決に取り組むことができる。 考えを伝えると同時に、この先の未来に対して自分にできることは何か、追求していくことができる。 |

4. 児童の実態

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 学びに向かう力 人間性等 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 島の名前や位置関係、簡単な歴史については理解できている。 情報収集において、必要な資料やインターネットを使って情報を集めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> なぜ学ぶか、自分たちにどう関係するかという点での考えに児童間で差がある。 情報を整理することができても、その次にどう繋げていくかという活動が一辺倒になることがある。 | <ul style="list-style-type: none"> 時事について関心がある児童がいる。 過去から学び、これからの姿で物事を考えることができる。 |

○事前のアンケートから

| | | 質問1 住んでいる地域の歴史や自然への関心 | | 質問2 北方領土についてもっと調べたいか | | 質問3 北海道や自分の住んでいる地域は好きですか | | 質問4 地域の行事に参加していますか | | 質問5 ICTを使うのは勉強の約に立つと思いますか | | 質問6 総合的な学習で情報を集めて調べたことを発表する活動に取り組んでいますか | |
|-----|---|--------------------------|-------|-------------------------|-------|-----------------------------|-------|-----------------------|-------|------------------------------|-------|--|-------|
| | | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 選択肢 | ア | 1 | 7.1% | 1 | 7.1% | 6 | 42.9% | 5 | 35.7% | 8 | 57.1% | 0 | 0.0% |
| | イ | 7 | 50.0% | 3 | 21.4% | 6 | 42.9% | 7 | 50.0% | 5 | 35.7% | 8 | 57.1% |
| | ウ | 4 | 28.6% | 8 | 57.1% | 1 | 7.1% | 1 | 7.1% | 0 | 0.0% | 6 | 42.9% |
| | エ | 2 | 14.3% | 2 | 14.3% | 1 | 7.1% | 1 | 7.1% | 1 | 7.1% | 0 | 0.0% |

成果

自分の住む町への関心は高い⇒さらに詳しく知り、それを発信していく。

課題

歴史や抱えている問題への関心は低い⇒現状を知り、自分事として捉える必要がある。

5. 単元の指導計画（全19時間）

| 時 | 目 標 | 学 習 活 動 | 評 価 |
|----------------------------|--|---|-------------------|
| 1 2 3 4 5 6 | 【問題の発見】 ○北方領土問題について考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・北方少年少女塾に参加する。 ・納沙布岬から北方領土を見る。 ・資料館で歴史を学ぶ。 ・ニホロで元島民2世から話を聞く。 | 知識 技能 |
| 7 8 | 【課題の設定】 ○北方領土問題について知り、そこから自分事として捉えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・『エトピリカ』を鑑賞する。 ・北方少年少女塾で学んだことをまとめる。 ・資料やインターネットから北方領土問題を考える。 | 知識 技能 |
| 9 10 | 【情報の収集】 ○自分の知りたいことを調べ、問題点を考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土対策協会のHPから自分の知りたい情報を集める。 | 知識 技能 |
| 11 | 【整理・分析】 ○これまでに学習した内容を整理し、問題の本質から自分たちにできることを考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から、問題について思考ツールを用いて整理し、興味を持った問題点についてグループで解決策を出し合う。 | 思考力 判断力 表現力 |
| 12 13 14 15 | 【まとめ・表現①】 ○グループで自分たちにできることを話し合い、主張を伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を参考に、様々な角度からできることを考える。 ・方向性が近い人たちでグループを作り、プレゼンテーションを作成する。 | 思考力 判断力 表現力 |
| 16 17 | 【まとめ・表現②】 ○プレ発表会をして、改善点を話し合うことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級内で発表を見せ合い、主張内容について改善案を出し合う。 ・出された改善案をもとに修正する。 | 思考力 判断力 表現力 |
| 18 | 【まとめ・表現③】 ○自分たちの考えを他者に向けて伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを行い、自分たちの考えを伝える。 | 学びに向かう力 人間性等 |
| 19 | 【まとめ・表現④】 ⇒ 【課題の設定】 ○学んだことや発表で気づいたことから、これからの在り方を考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して見えてきた課題を明確にし、これからの生活を考える。 | 学びに向かう力 人間性等 |

6. 本時案 (11 / 19)

(1) 本時の目標

これまでに学習した内容を整理し、問題の本質から自分たちにできることを考えることができる。

【思考力・判断力・表現力】

(2) 本時の展開

| | 子どもの学習活動 (・) 教師の働きかけ (○) | 指導上の留意点 (◎), 評価 |
|------------|---|--|
| 導入 10分 | <p>○これまでに調べた北方領土問題を出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアとの関係 ・時間が経ちすぎていること ・元島民の高齢化 ・日本人の関心が薄れている <p>○自分たちとの関係を考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 問題を解決するには何が必要だろう</p> </div> | <p>◎ロシアとの平和的解決はもちろん、国内での問題も視点とする。</p> <p>◎問題の根拠を明らかにする。</p> <p>◎自分と無関係ではないということを確認する。</p> |
| 展開 30分 | <p>○グループになり、具体的な解決策を出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールを用いて整理する <p>○グループで出た解決策を全体で交流する</p> <p>ロシアとの関係⇒仲良くするための方法 時間の経過⇒今できることの見通し 元島民の高齢化⇒2世、3世の意識について 日本人の関心⇒広めるためには</p> <p>○出てきた解決策を観点別に分ける</p> <p>すぐできる⇔時間がかかる 一人でできる⇔みんなでできる</p> <p>○どんな問題について考えていきたいか決める</p> | <p>◎ロイロノートでグループ内共有をして話し合う。</p> <p>◎実現が難しくても、多面的に意見が出るように促したい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>これまでの学習から、自分たちにできることを話し合い、自分の考えを深めることができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>【交流・ロイロノート】</p> </div> <p>◎発表のテーマとなることを確認する。</p> |
| まとめ 10分 | <p>○次時の説明</p> <p>○発信の方法について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて5年生へ ・展示できるものとして資料館へ | <p>◎学級内の発表だけでいいのか考え、子どもたちの問題に対する意識を図りたい。</p> |